

# OECDプライバシーガイドラインの 改正動向と最新情報

慶應義塾大学 新保 史生

①収集制限の原則

⑤安全保護の原則

②データ内容の原則

⑥公開の原則

③目的明確化の原則

⑦個人参加の原則

④利用制限の原則

⑧責任の原則

## OECDプライバシーガイドライン改正へ向けた検討

### ■ ガイドライン30周年記念報告書

- 1980年の「OECD プライバシー保護と個人データの国際流通についてのガイドライン」30周年を機に報告書を作成
- プライバシーをめぐる状況において発生した主要な変化を概観
- 検討事項の多くは、OECD が2010 年に計画している記念式典で議論の予定

- 30 Years After: the Impact of the OECD Privacy Guidelines

[http://www.oecd.org/document/39/0,3343,en\\_2649\\_34255\\_44946983\\_1\\_1\\_1\\_1,00.html](http://www.oecd.org/document/39/0,3343,en_2649_34255_44946983_1_1_1_1,00.html)

### ■ 議論の主な内容

- 現在のプライバシー保護をめぐる状況に基づき、プライバシー・ガイドラインの起草時点との相違点
- OECD のプライバシー・ガイドラインに基づく原則や概念に従ってプライバシーを保護する上で、現在の諸環境がもたらす課題
- これら諸課題に対処するための現在の取り組み



## プライバシー・ガイドライン見直しにあたっての検討事項

- 1. THE DEVELOPMENT AND INFLUENCE OF THE OECD PRIVACY GUIDELINES
  - 1.1 The emergence of computerised processing, concerns about privacy and national legislation
  - 1.2 The approach of the OECD
  - 1.3 The influence of the Guidelines
- 2. CURRENT TRENDS IN THE PROCESSING OF PERSONAL DATA
  - 2.1 Technological developments
  - 2.2. Global data flows
  - 2.3 Changes in organisational practices
  - 2.4 Changes in individuals' practices
- 3. PRIVACY RISKS IN THE EVOLVING ENVIRONMENT
  - 3.1 Security
  - 3.2 Unanticipated uses of personal data
  - 3.3 Surveillance
  - 3.4 Trust
- 4. CONSIDERATIONS AND CHALLENGES TO EXISTING PRIVACY APPROACHES
  - 4.1 Scope of privacy protections
  - 4.2 Role of transparency, purpose and consent
  - 4.3 Variations in national and regional approaches
- 5. EVOLUTION AND INNOVATION IN PRIVACY GOVERNANCE
  - 5.1 Expanding global reach
  - 5.2 Implementation, governance and oversight

©2010 SHIMPO Fumio



## プライバシー・ガイドライン見直しにあたっての検討事項

- 1. OECDプライバシー・ガイドラインの発展と影響
  - 1.1 コンピュータ処理の進展、プライバシーおよび各国の法制度との関係
  - 1.2 OECDのアプローチ
  - 1.3 ガイドラインの影響
- 2. 現在の個人データ処理の傾向
  - 2.1 技術的進歩
  - 2.2 国際的なデータ流通
  - 2.3 組織の活動の変化
  - 2.4 個人の活動の変化

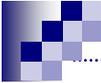
©2010 SHIMPO Fumio

- 3. 新たに進化する環境におけるプライバシー・リスク
  - 3.1 セキュリティ
  - 3.2 個人データの目的外利用
  - 3.3 監視
  - 3.4 信頼性
- 4. 既存のプライバシー保護の取組に関する検討課題
  - 4.1 プライバシー保護の範囲
  - 4.2 透明性の確保、利用目的及び同意の役割
  - 4.3 国及び地域におけるアプローチの多様性
- 5. プライバシー保護のガバナンスの進化と新たな制度
  - 5.1 グローバル・リーチの拡大
  - 5.2 履行、ガバナンス、監督

- 産業イノベーション起業委員会 (CIIE)
  - 起業、産業、地域発展
- 情報・コンピュータ・通信政策委員会 (ICCP)
  - インターネット経済
- 消費者政策委員会 (CCP)
  - 消費者政策
- 科学技術政策委員会 (CSTP)
  - 科学技術政策
- CSPTバイオテクノロジーWG

- 1. インターネット経済の未来
- 2. 情報通信技術ネットワークの経済的影響
- 3. 情報セキュリティとプライバシー保護の強化
- 4. 通信の市場、政策、規制
- 5. 情報通信技術のイノベーションとグリーン成長
- 6. 情報通信技術の基準評価
- 7. 国別分析とレビュー

©2010 SHIMPO Fumio



1. インターネット経済の未来（主要な課題）

- 個人データの経済学
  - インターネット経済における個人データのより正確な測定を含む個人データの経済学に関する研究の実施
- グローバルなインターネット経済
  - グローバルなインターネットに関する課題と関連課題に関する分析
- クラウド・コンピューティングに関する影響と政策枠組
- オンラインにおけるユーザー保護のための国際的な規制執行の協力

©2010 SHIMPO Fumio